

## ゼット・エフ・ジャパン株式会社 (Richard Kracklauer 氏)

ゼット・エフ・ジャパン株式会社は、ドイツ・フリードリヒスハーフェンに本社を置くゼット・エフグループの日本法人である。自動車部品のグローバルサプライヤーである同社は、1980年に日本拠点を設立して以来、継続的な成長を続けながら日本の自動車メーカーとの共同開発を通じて先進テクノロジーを日本市場に紹介してきた。日本におけるビジネス状況や今後の展望について、ゼット・エフ・ジャパン株式会社代表取締役社長の Richard Kracklauer 氏にインタビューを行った。

ゼット・エフグループは、ドライブライン(動力伝達装置)およびシャシ・テクノロジーの分野で、世界中の自動車メーカーに先進技術を提供してきた。今年で創立 100 周年を迎える同グループは、世界 40 カ国に 230 の生産拠点と、およそ 134,000 名の従業員を擁しており、グローバルにビジネスを展開している。日本におけるビジネス状況や今後の展望について、同グループ日本法人ゼット・エフ・ジャパン株式会社代表取締役社長の Richard Kracklauer 氏にインタビューを行った。



ゼット・エフ・ジャパン株式会社  
代表取締役社長 Richard Kracklauer 氏

### 日本でビジネスを始めた経緯は？

日本拠点は、輸入車向けアフターセールスを目的として、1980年に設立された。当時、国内では輸入車が急増しつつあったが、輸出元である欧州の自動車メーカーは日本に十分なサポート体制が整っていなかったため、当社が修理や部品の交換等を手掛けた。その後、2006年に企業の知名度向上や事業の窓口の一本化を目的としてそれまで日本にあった複数の拠点や部門を統合し、現在のゼット・エフ・ジャパンが誕生した。

### 日本におけるビジネスの現状は？

ゼット・エフグループは、日本の拠点を重要なエンジニアリングセンターとして位置付けている。今日では、パワートレイン・テクノロジー、シャシ・テクノロジー、商用車テクノロジー、インダストリアル・テクノロジーの各事業部において燃費経済性、安全性、快適性に優れた高性能な製品を提供している。

### ゼット・エフ・ジャパンの強みは？

まず、ゼット・エフグループの世界的なネットワークが挙げられる。ゼット・エフグループでは、顧客の本拠地がある支社が責任を持つ体制となっているため、日系自動車メーカーの海外進出にもゼット・エフ・ジャパンが大きな責任を担う。世界 40カ国に 230 の生産拠点を有するグループのネットワークを活用することで日本企業の進出先においても競争力のある提案ができる。当社は、自動車専門誌「Automotive News」が選定する「Top 100 global OEM parts suppliers」の売上高ランキングで、トップ 10 に入るなど、国際的な知名度や評価も高い。また、自動車部品大手の TRW(米国)の買収手続きが 5 月に完了したことにより、今後は顧客に対してさらに質の高い提案ができる。

また、独立系の自動車部品メーカーとして、長年培ってきた自社技術を用いて日本のメーカーとの共同開発や OEM 提携ができることも当社の強みである。毎年グループ全体の総売上の約 5 パーセントを研究開発に投資するなど、積極的に研究開発を行っている。日系自動車メーカーの場合、コア技術の仕様は日本で決定されることが多いため、当社にはプロトタイプ共同開発等、開発の初期段階から関係を構築することが求められている。製品の仕様が決定し、量産する段階に入れば、その事業はグループ内の生産拠点に移管する。

### 日本でビジネスを進める上で苦労した点は？

日本でビジネスを行う上で、大きなハードルを感じたことは特にない。法規制などについても問題はない。確かにオフィスと住宅の賃料、人件費は比較的高いと思うが、居住環境は極めて良いと感じる。

あえて今後の課題を挙げるとすれば、人材の確保だろう。現在日本拠点には、応用開発を担当するエンジニアがいるが、今後は川上の段階の研究開発も行うことができる体制を構築したいと考えている。現在 15 人いるエンジニアを、2016 年には 50 人、さらに 2018 ～2020 年までに 200 人までに増やす予定だ。日本では近年、少子化に加え、若い人のエンジニアリングへの関心が薄れてきている印象があり、人材確保が喫緊の課題となっている。その対策として当社は、大学との連携を重視し、将来自動車メーカーへの就職や自動車関連の技術者への登竜門となる「全日本学生フォーミュラ大会～ものづくり・デザインコンペティション～」のスポンサーとなり、製品の提供や技術のフォローアップ等の取り組みを行っている。このような大会は、優秀な人材を発掘・獲得する絶好の場である。

### 今後の日本でのビジネス展開は？

グループ全体の地域別売上において、現在、日本を含めアジアでの売上は 18 パーセント程度だが、将来的にはこれを 3 割程度まで引き上げたいと考えている。実際、アジアでの売上は、高い成長を記録しており、今後も更なる拡大に向け、注力していきたい。

また、日本での研究開発にも力を入れていく。日本市場に長期的にコミットしていくという方針の下、テクニカルセンターを日本に設置する予定だ。さらに、R&D 拠点の設立も視野に置いている。日本は本格的な少子高齢化社会を迎え、世界的にも、E-Mobility のニーズが高いことから、5 年、10 年先の技術を見据えた開発を行う必要性を感じている。今後、他の国でも少子高齢化社会に直面する可能性が高いことを考えると、当社にとって日本は世界が抱える課題に先行して取り組むことができる、可能性に満ちた市場といえる。

(2015 年 6 月)

## 日本における沿革

---

- 1980 年 ゼット・エフ・ジャパン株式会社を設立
- 2006 年 東京エンジニアリングセンターを設立（部門別に分かれていた拠点を統合）
- 2013 年 Super GT のオフィシャルスポンサー契約を締結
- 2015 年 TRW オートモーティブの買収

## ゼット・エフ・ジャパン株式会社(日本法人)

---

- 設立: 1980 年
- 事業概要: 自動車機器(ドライブラインおよびシャシ・テクノロジー)の開発・生産・販売
- 住所: 東京都港区東新橋 2-8-1 パラッツォアステック 7、8 階
- URL: [http://www.zf.com/ap/content/ja/japan/corporate\\_jp/homepage\\_jp/index.html](http://www.zf.com/ap/content/ja/japan/corporate_jp/homepage_jp/index.html)